

平成19年9月3日(1)

開議 10時15分

○議長 秋成茂信君

皆さん、おはようございます。

只今の出席議員は15名で定足数に達していますので、平成19年第3回豊前市議会定例会を開会し、本日の会議を開きます。

議事に入る前に、先般、開催されました第83回全国市議会議長会定例総会において、尾家清美議員、30年。岡田義則議員、20年。山本章一郎議員、15年。渡邊一議員、10年。中村勇希議員、10年。それに、私、秋成茂信、15年の6名の議員が、長年にわたり市政進展に尽くした功績により表彰されましたので、ご報告いたしますとともに、表彰状の伝達式を行います。

それでは、議員を代表して、尾家清美議員に表彰状を渡したいと思います。

(表彰状、伝達)

(拍手)

以上で伝達式を終わります。

それでは、本日の議事に入ります。

日程第1 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、議会運営委員会で協議の結果、お手元に配布のとおり、本日9月3日から9月25日までの23日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、会期は23日間と決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において、4番爪丸裕和議員、10番神崎光昭議員を指名いたします。

日程第3 諸般の報告をいたします。監査委員から、平成19年5月から、平成19年7月までの出納例月検査の報告がありました。各報告書については、事務局に保管していますので、ご了承願います。

日程第4 提出議案の上程及び提案理由の説明を行います。

市長から、付議案件として、議案17件、報告1件の提出があっております。これを一括上程し議題といたします。市長に、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長 釜井健介君

本日ここに、平成19年第3回豊前市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、公私共にご多用のところご臨席を賜り、誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

本議会に提案いたしております議案は、条例案件4件、予算案件2件、決算案件11件、

報告案件1件の合計18件であります。議案の順序により、ご説明申し上げます。

議案第62号は、豊前市長等政治倫理条例の一部を改正する条例の制定についてであります。郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行により、郵便貯金法が廃止されること及び証券取引法等の一部を改正する法律の施行により、同法の題名等が改められることに伴い、関係規定を整備するための案件であります。

議案第63号は、豊前市バス事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。道路運送法の一部改正に伴い、関係規定を整備するための案件であります。

議案第64号は、豊前市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例の制定についてであります。雇用保険法等の一部を改正する法律が、平成19年10月1日から施行されること等に伴い、関係規定を整備するための案件であります。

議案第65号は、豊前市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定についてであります。豊前市営住宅上町団地の建替事業の実施に伴い、新たに団地を設置するための案件であります。

議案第66号は、平成19年度豊前市一般会計補正予算(第2号)であります。今回の補正予算は、市政運営上、緊急必要とされる経費等について、所要の措置をいたしたところであります。その補正額は、8756万4000円で、補正後の予算総額は、113億9536万4000円であります。

歳出の目的別補正の概要について、ご説明を申し上げます。

2款総務費に、318万3000円の補正であります。その主なものは、人権センター負担金に663万3000円の補正であります。

3款民生費に、224万8000円の補正であります。その主なものは、後期高齢者医療制度システム改修費に128万7000円、国民年金所得情報報告システム開発費に56万1000円の補正であります。

4款衛生費は、PCB廃棄物処理手数料に114万2000円の補正であります。

6款農林水産業費に、530万円の補正であります。その主なものは、食育推進事業費に30万円、県単林道事業費に300万円、松江漁港改修費に200万円の補正であります。

8款土木費に、5424万4000円の補正であります。その主なものは、幹線市道見直し業務委託費に189万円、道整備交付金事業採択に伴う道路新設改良費に5245万9000円の補正であります。

9款消防費は、消防団員退職報償金負担金に94万円の補正であります。

10款教育費に、1500万7000円の補正であります。その主なものは、豊前人権研究協議会補助金を318万3000円減額し、文化施設整備設計委託費に1440万円、総合文化施設整備基金積立金に100万円補正するものであります。

11款災害復旧費は、台風5号による災害復旧費550万円の補正であります。

この補正予算の財源は、歳出補正に伴う国庫支出金等の特定財源のほか、一般財源として平成18年度繰越金をそれぞれ措置いたしたところであります。

議案第67号は、平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)であります。補正額は400万4000円で、その主なものは、後期高齢者医療制度開始に伴う国民健康保険システムの改修費であります。

議案第68号から第78号までは、平成18年度の決算の認定に関する議案であります。同議案に係る一般会計のほか、8特別会計の概要及び各部門別の主要施策の成果等につきましては、別冊に記述のとおりでありますので、関係の説明は省略させて頂き、会計別の決算等について、そのあらましを申し上げます。

議案第68号 豊前市一般会計の最終予算額は、113億2749万2000円であります。これに対し、歳入決算額は、108億1412万6877円で、予算に対する収入率は95.5%、歳出決算額は106億9813万6065円で、対予算の執行率は94.4%、歳入歳出差引1億1599万812円の形式黒字となっておりますが、翌年度の繰越財源を差引いた実質収支額は、5245万7812円の黒字決算となっております。

このうち3000万円は、地方自治法第233条の2及び財政調整基金条例第2条の規定に基づき積立てをいたしております。

議案第69号 豊前市国民健康保険事業特別会計の最終予算額は、37億3738万円です。これに対し、歳入決算額は36億9983万1639円で、予算に対する収入率は99.0%、歳出決算額は、32億6542万3541円で、対予算の執行率は87.4%、歳入歳出差引4億3440万8098円の黒字で、翌年度繰越金となっております。

議案第70号 豊前市老人保健特別会計の最終予算額は、46億5226万2000円です。これに対し、歳入決算額は44億670万5409円で、予算に対する収入率は94.7%、歳出決算額は44億3391万5883円で、対予算の執行率は95.3%、歳入歳出差引2721万474円の歳入不足となっておりますので、翌年度より繰上充用いたしております。

議案第71号 豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計の最終予算額は、3646万6000円です。これに対し、歳入決算額は1949万942円で、予算に対する収入率は53.4%、歳出決算額は3605万1534円で、対予算の執行率は98.9%、歳入歳出差引1656万592円の歳入不足となっておりますので、翌年度より繰上充用いたしております。

議案第72号 豊前市農業集落排水施設事業特別会計の最終予算額は、3446万7000円です。これに対し、歳入決算額は3357万1071円で、予算に対する収入率は97.3%、歳出決算額は3354万5451円で、対予算の執行率は、97.3%で、歳入歳出差引き5620円の黒字で、翌年度繰越金となっております。

議案第73号 豊前市公共下水道事業特別会計の最終予算額は、8億3908万7000円であります。これに対し、歳入決算額は7億9327万4402円で、予算に対する収入率は94.5%、歳出決算額は7億7591万552円で、対予算の執行率は92.5%、歳入歳出差引1736万3850円の黒字で、翌年度繰越金となっております。

議案第74号 豊前市公共用地先行取得事業特別会計の最終予算額は、1000万円です。これに対し、18年度は執行額0につき全額不用額となっております。

議案第75号 豊前市営駐車場事業特別会計の最終予算額は、850万円です。これに対し、歳入決算額は1108万8541円で、予算に対する収入率は130.5%、歳出決算額は765万3511円で、対予算の執行率は90.0%、歳入歳出差引343万5030円の黒字で、翌年度繰越金となっております。

議案第76号 豊前市バス事業特別会計の最終予算額は、4343万4000円です。これに対し、歳入決算額は4083万9668円で、予算に対する収入率は94.0%、歳出決算額は4083万9668円で、対予算の執行率は94%で、歳入歳出は同額となっております。

議案第77号 平成18年度豊前市水道事業会計の決算は、収益的収支では、収入5億5107万4837円に対し、支出5億1795万9828円で、消費税を除いた実質収益は2876万4781円となっております。なお、営業外収入につきましては、当年度他会計補助金及び業務受託収益による収益であります。諸経費の節減と有収率の向上に努めましたが、支出の主な要因は、水道企業団用水受水費支払いによるものであります。

また、資本的収支では、収入1億1933万4850円に対し、支出2億1110万4292円であり、差引9176万9442円の不足が生じておりますが、この不足額につきましては、過年度分損益勘定留保資金7016万4553円、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額267万7725円で補填をしたところであります。

事業面では、配水管布設と漏水防止対策を含めた老朽管の布設替工事、11工事、工事延長2333.1mを実施いたしました。また、第8期拡張事業につきましては、工事箇所8工事、工事延長1850.3mを完了したところであります。経営効率化の結果として、料金収入の増加、人件費の減少として現れております。今後とも、なお一層の効率的な経営の推進に企業努力をしてまいり所存でございます。

議案第78号 平成18年度豊前市東部地区工業用水道事業会計の決算は、収益的収入では、収入1267万5730円に対し、支出1373万6128円であり、消費税を調整した当年度純損失は106万398円です。なお、営業外収益につきましては、水道事業会計からの受託業務による収入です。事業内容といたしましては、豊前東部工業団地内企業1社に工業用水を供給しております。また、資本的収支は、施設整備等を行いませんでしたので、収入支出ともに0円となっております。

報告第6号は、豊前市土地開発公社の平成18年度の事業及び決算並びに19年度事業

計画及び予算について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告をするものがあります。

以上、提出議案の概要について、ご説明を申し上げましたが、いずれの議案も市政運営上、緊急かつ必要な案件でありますので、議員各位には、慎重にご審議の上、速やかにご議決くださいますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わります。

○議長 秋成茂信君

以上で、議案の上程及び提案理由の説明を終わります。

次に、今定例会に提案されております各決算の認定案件について、監査委員の審査報告を求めます。古野監査委員。

○監査委員 古野正巳君

今回、審査に付されました平成18年度豊前市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算の審査の経過と概要について、ご報告いたします。

審査は、本年の6月1日から7月27日まで、・永監査委員とともに実施をいたしました。審査に当たっては、提出されました関係書類の合规性、係数の正確さ、予算執行の適否等を主眼に関係職員からの説明、または聴取により実施したところです。

詳細につきましては、別冊審査意見書がありますので省略をさせていただきます。

はじめに、平成18年度決算の収支状況のうち実質収支は、一般会計では5245万8000円の黒字となっており、このうち3000万円は、関係の基金条例に基づき積立てをしております。また、財政調整基金への積立て、取崩額を整理した実質単年度収支は、2020万4000円の赤字決算となっております。

特別会計では、老人保健、住宅新築資金等貸付事業会計は、赤字となっておりますが、その他の会計は、黒字、或いは、収支が均衡しており、特別会計を合計した実質収支は、4億974万1000円の黒字となっております。

次に、一般会計のうち、主なものを対前年度比で見ますと、歳入では、自主財源の柱であります市税は、市民税個人分が、各種所得控除額の変更、廃止、定率減税額の引き下げなどにより、5175万3000円の増、法人分が、企業業績の好調により6153万9000円の増となり、市民税合計では1億1329万2000円、10.4%の増収となっております。

固定資産税は、18年度は、固定資産の評価替年度であったことから、家屋分が8001万円の減となり、市税収入の合計では6711万4000円、2.2%の増収となっております。

依存財源では、地方譲与税、主に所得譲与税であります。7952万9000円の増となっておりますが、地方交付税が6477万8000円、市債の借入れが1億4910万円の減となっており、一般会計の歳入総額は、前年度に比べ2億739万3000円減の108億1412万7000円となっております。

自主財源のうち、市税、国民健康保険税、その他の収入につきましては、適時対策をし、収入率の向上に努力されておりますが、なお、収入未済額は多額なものとなっております。

厳しい状況は理解できますが、滞納者に対しては、法的措置を含め厳正に対処し、市民負担の公平、財源確保のため、一層の取り組みを要望したところです。

歳出では、前年度に比べ増加したものが、2款総務費のうち職員退職手当が3億771万5000円、10款教育費のうち、山田地区学習等供用施設整備事業費1億6689万7000円などであります。減額となったものは、8款土木費のうち、赤熊南土地区画整理事業が、事業の進捗により1億2396万5000円、12款公債費は、長期償還元金利子の償還額の減により、前年度に比べ4188万7000円の減となっております。

また、国民健康保険事業特別会計をはじめ、老人保健、農業集落排水施設事業、公共下水道事業、市バス事業の各会計には、一般会計から、合計で前年度に比べ393万2000円増の9億2368万5000円が、国の繰出基準、或いは、赤字補填として繰出しされております。

普通会計による財政指標のうち、公債費の一般財源に占める割合を示す公債費比率は、15.8%で、僅かながら改善しておりますが、財政構造の弾力性を測定する経常収支比率は93.3%で、年々悪化をし、財政硬直化が進行しております。

少子・高齢化の進行、人口減少等大きな変革期を迎え、また、国・地方を通じ危機的な財政状況の中、今後の財政運営につきましては、現在、策定されております豊前市行政改革大綱及び同集中改革プランにそった確実な実施は勿論、更なる対策を進め、財政の健全性の確保に努めながら、市民福祉の増進に寄与されることを願っております。

次に、公営企業会計のうち、水道事業会計の消費税を調整した平成18年度の収益的収支は、2876万4000円の黒字決算となっており、当年度未処理欠損金累積赤字額は、3億8215万2000円となっております。収益費用のうち、主なものを前年度比で見ますと、収益では、給水人口が116人、給水戸数が40戸それぞれ増加し、年間有収水量が6万4689^m増えたことにより、水道使用料金などが1792万7000円の増収となっております。

費用では、職員給与費が職員、嘱託職員を減員したことにより、118万4000円の減額となっているが、管路台帳作成業務委託をはじめ、電算システム更新に伴う負担金の増額等により、前年度より総額で1949万5000円の増となっております。

最後に、東部地区工業用水道事業会計の消費税を調整した収益的収支は、106万円の赤字決算となっており、当年度未処分利益剰余金、累積黒字額ですが、10万6000円となっております。収支において、水道事業会計は黒字決算となっておりますが、内容的には、一般会計からの補助金に依存した状況は、従前どおりであります。

今後、安定した企業経営をしていくためには、両事業とも施設の供給能力に見合った給水量の確保を図る取り組みが、大きな課題であることを申し上げ報告を終わります。

○議長 秋成茂信君

報告は終わりました。

以上で本日の日程はすべて終わりました。

9月10日及び11日の本会議において、一般事務についての質問を行います。

なお、議案に対する質疑は、9月11日のみといたします。一般質問及び議案に対して質疑のある方は、本日、午後5時までに発言通告書を提出されるようお願いいたします。

なお、発言の順序は、通告書提出の順序といたします。

それでは、本日はこれをもって散会いたします。

散会 10時50分